

カゴメはトマトジュースやケチャップなどの加工食品以外に、グループ全売上高の約5%に相当する高リコピントマトなど生鮮野菜栽培の農業事業を手がける。ハウス栽培子会社として2019年5月に開業したのが長野県富士見町の「八ヶ岳みらい菜園」だ。隣接するカゴメ富士見工場の廃熱をヒートポンプで取り出して暖房熱源として利用。ボイラ熱のみの場合に比べ、約2割の省エネルギー効果を上げている。

カゴメが子会社を通じて農業事業を始めて約20年がたつ。消費者の健康志向の高まりを受け、体に良いとされる高リコピントマトの売り上げが好調だ。子会社の八ヶ岳みらい菜

### カゴメ

## モノづくり現場

エレクトロヒート技術最前線 ⑥

## 隣接工場の廃熱を回収利用

# ハウス暖房コスト2割削減



園のハウス規模は1万1000平方メートル。同様の栽培子会社と比べると小規模なもの

の、工場の廃熱を利用した空調設備は初の試みだ。「収穫量もこの

温が上昇した地下水をそのまま捨てていた。

20以上の標高にあるハウスのため、真冬の寒

利用してきたが、1月

見込みで、他の既存ハウスと比べて効率

はトップクラス（カゴメ東京本社）と

元々、富士見工場では12度C前後の地に使い始めたのは19年

カゴメ富士見工場の廃熱をヒートポンプ（右手前の2台）で取り出し、暖房熱源として利用している

9月。それまではヒートポンプを夜間冷房に使用。「夏期は朝にな

コストは露地栽培の5倍以上はかかる。また、年間を通じて平均20度Cに室温を保つ必

【事業所概要】▽所在地▽長野県富士見町富士見2150、02666・62・3111▽主要生産品目▽紙パック飲料、ペットボトル飲料など▽年間CO2排出量▽約8000ト